



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社芝浦電子 上場取引所 東  
コード番号 6957 URL <https://www.shibaura-e.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長社長執行役員 (氏名) 葛西 晃  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 星ノ谷 行秀 (TEL) 048-615-4000  
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	16,183	△1.1	2,575	△1.2	2,726	△2.2	1,869	2.2
2023年3月期第2四半期	16,370	6.2	2,606	△7.1	2,787	△1.0	1,829	8.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,538百万円(△15.1%) 2023年3月期第2四半期 2,989百万円(53.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 245.59	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	円 銭 237.97	円 銭 —

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 42,456	百万円 33,035	% 77.7
2023年3月期	40,930	31,783	77.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 32,990百万円 2023年3月期 31,739百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 200.00	円 銭 200.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	220.00	220.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	0.9	5,500	0.7	5,500	△2.1	3,900	1.8	509.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 -社 (社名) 、 除外 -社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	7,779,865株	2023年3月期	7,779,865株
2024年3月期2Q	147,861株	2023年3月期	191,700株
2024年3月期2Q	7,613,313株	2023年3月期2Q	7,688,244株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が所有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の経済情勢は、インフレ対応などにより各国が金利引き上げなど、金融引き締め政策を続けたことや、国際的な紛争により地政学リスクが高まるなど、経済成長の懸念が高まっております。中国では不動産市場の低迷などから、経済活動に勢いはなく、停滞感が増しております。米国では連邦準備制度理事会(FRB)の金融引き締め政策の動向が注視されますが、原油価格高騰などの経済への影響が懸念されます。国内経済においては、世界経済の停滞を受け、輸出は減少し、円安による輸入価格の上昇などの影響は懸念されますが、企業の業績回復を背景に景気は回復基調にあります。当社の属する電子部品業界は、半導体不足の緩和による自動車生産の回復など、業況の改善が見られる分野では好調ですが、家電製品など最終需要の低迷など回復が遅れている分野では伸び悩むなど予断を許さない状況です。

このような状況の中、当社グループは本年創立70周年を迎え、中期経営計画(Sense the Dynamics 2023-2025)の達成に向けて取り組んでおります。製造面においては、AIやロボットを導入した製造設備の研究・開発や継続的な改善活動など品質・生産性向上への取り組みを進めております。原材料調達については、グローバル調達を推進し、リードタイムの短縮や材料調達コスト削減など、コストを抑え安定的に供給出来る体制づくりを進めております。また、産学連携による素材形成や物性研究などの研究案件、お客様やサプライヤーと協力した製品開発案件などの研究開発活動にも積極的に取り組んでおります。

販売面においては、EV/HVへの販売拡大を中心とし、加えて環境規制やエネルギー効率化に関わる分野へ積極的に営業活動を展開しております。事業分野毎には、ホームアプライアンスではコーヒーメーカーや電子レンジなどの調理家電向けセンサ及びガス給湯器などの住宅設備向けセンサの販売が減少しました。オートモーティブでは引き続き、電動化推進などにより、EV/HV用モーター向けセンサの販売が増加しました。インダストリアルでは汎用インバーター向け素子の販売は増加しましたが、産業ロボット向けセンサの販売は減少しました。

当期間においては、2022年3月期第2四半期において香港芝浦電子で発生した送金詐欺による被害額2億7千6百万円のうち一部の6千4百万円を回収し、特別利益として計上しました。また、当社グループの正社員、契約社員を対象に譲渡制限付株式インセンティブとして自己株式を処分し、割り当ていたしました。社員の資産形成及びモチベーションの向上並びに経営参画意識向上に繋げてまいります。その他引き続き、働き方の多様化への対応や人財育成、社員の健康増進支援、ガバナンス強化、二酸化炭素排出量削減などのESG課題にも積極的に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	16,370	16,183	△186	△1.1%
営業利益	2,606	2,575	△30	△1.2%
経常利益	2,787	2,726	△60	△2.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,829	1,869	40	2.2%

各事業分野の売上高は、以下のとおりであります。

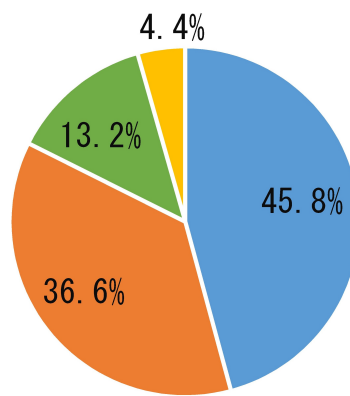
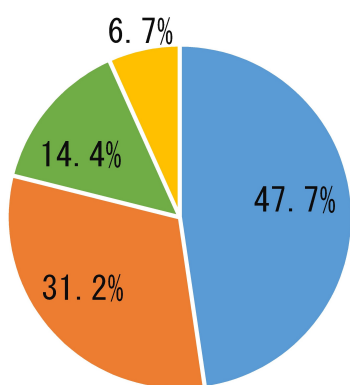
## 事業分野別売上高

(単位：百万円)

事業分野	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率
ホームアプライアンス	7,805	7,419	△386	△5.0%
オートモーティブ	5,112	5,916	804	15.7%
インダストリアル	2,353	2,137	△215	△9.1%
その他	1,099	709	△389	△35.4%
計	16,370	16,183	△186	△1.1%

前第2四半期連結累計期間売上高構成比

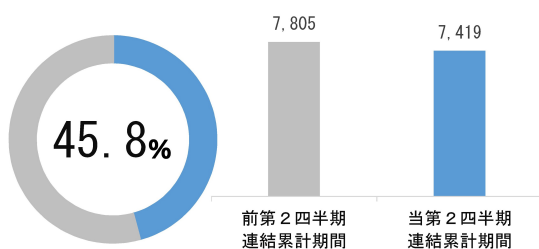
当第2四半期連結累計期間売上高構成比



■ ホームアプライアンス ■ オートモーティブ ■ インダストリアル ■ その他

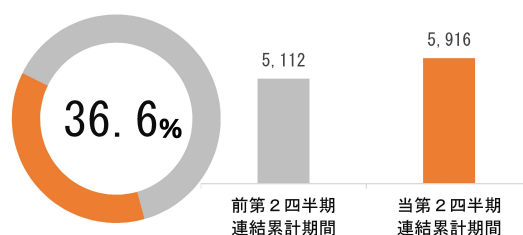
■ ホームアプライアンス  
● 売上高構成比

● 売上高 (単位: 百万円)



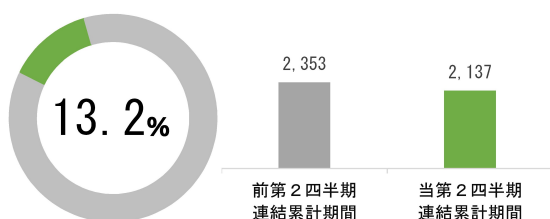
■ オートモーティブ  
● 売上高構成比

● 売上高 (単位: 百万円)



■ インダストリアル  
● 売上高構成比

● 売上高 (単位: 百万円)



(注) 当第1四半期連結累計期間より、「インダストリアル」及び「その他」を構成していた売上高の区分見直しを行っており、前第2四半期連結累計期間の売上高及び売上高構成比は、当第2四半期の区分に基づき表示しております。なお、影響額はそのほか213百万円減少、ホームアプライアンスが169百万円増加、オートモーティブが16百万円増加、インダストリアルが27百万円増加しております。

前第2四半期連結累計期間売上高構成比はそのほか1.3%減少、ホームアプライアンスが1.0%増加、オートモーティブが0.1%増加、インダストリアルが0.2%増加しております。

## (2) 財政状態に関する説明

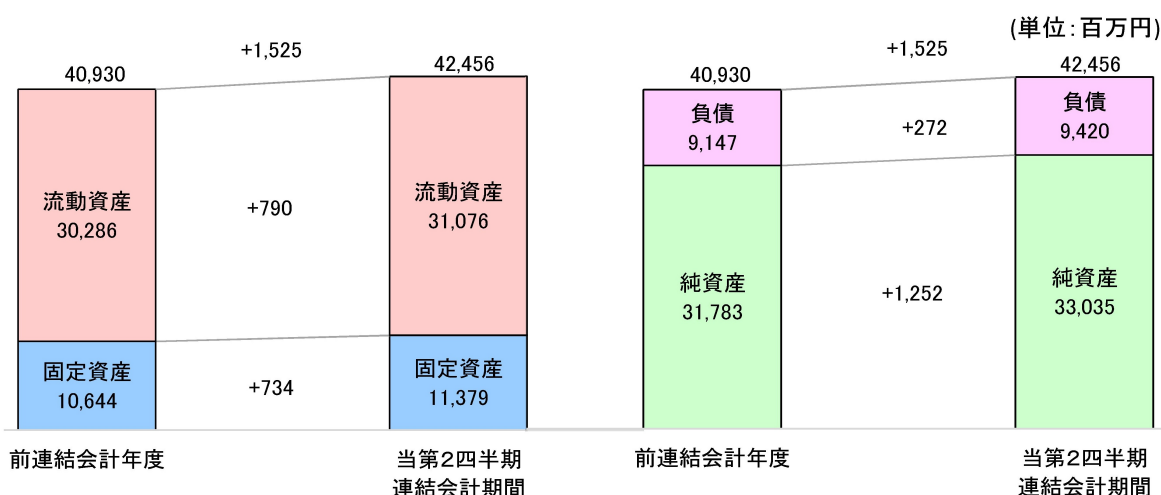
## ①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは、適切な流動性の維持、事業活動に必要な資金の確保及び健全な財政状態の維持を財務方針としております。

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第2四半期 連結会計期間	増減
資産合計	40,930	42,456	1,525
流動資産	30,286	31,076	790
固定資産	10,644	11,379	734
負債合計	9,147	9,420	272
純資産合計	31,783	33,035	1,252



## (資産)

当第2四半期連結会計期間の流動資産は、前連結会計年度比7億9千万円増加しました。現金及び預金が8億1千3百万円、受取手形及び売掛金が4億8千5百万円、電子記録債権が2億1千3百万円増加した一方、流動資産その他の中の未収消費税が5億6千6百万円、商品及び製品が1億1千5百万円減少しました。

固定資産は前連結会計年度比で7億3千4百万円増加しました。国内外各社への生産性向上のための設備投資などにより有形固定資産が4億4千万円、創立70周年を記念して当社グループ社員向けに譲渡制限付株式を付与したことにより、投資その他の資産のその他の中の長期前払費用が1億8千万円増加しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度比2億7千2百万円増加しました。買掛金が7億5千8百万円、流動負債その他の未払金が1億5百万円増加した一方、未払法人税等が1億6千6百万円、短期借入金が2億5千万円、長期借入金が3億円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度比12億5千2百万円増加しました。為替換算調整勘定が6億4千4百万円、利益剰余金が3億3千5百万円増加した一方、グループ社員向けの譲渡制限付株式を自己株式から割り当てたことで、自己株式が1億9千5百万円減少しました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の77.5%から77.7%となりました。

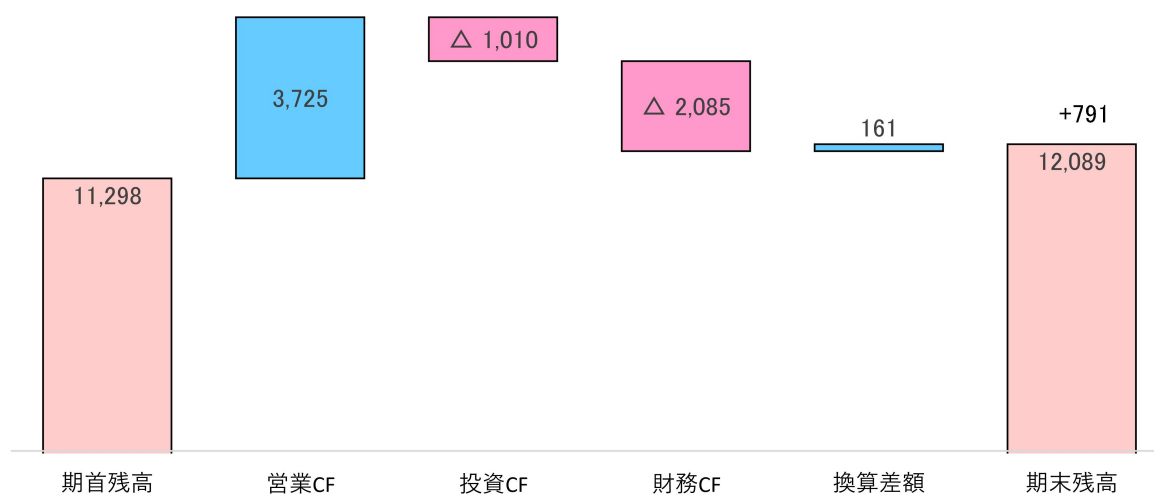
## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
現金及び現金同等物の期首残高	12,311	11,298	△1,012
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,944	3,725	1,780
投資活動によるキャッシュ・フロー	△715	△1,010	△294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,834	△2,085	△251
換算差額	362	161	△200
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,067	12,089	21

(単位：百万円)



## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、37億2千5百万円（前期19億4千4百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益27億8千5百万円、減価償却費7億3千7百万円、未収消費税の減少額5億6千6百万円、仕入債務の増加額5億8千2百万円などの資金の増加が、法人税等の支払額10億9千5百万円、売上債権の増加額4億8千5百万円などの資金の減少を大幅に上回ったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、10億1千万円（前期7億1千5百万円）となりました。これは主に、国内外各社の生産性向上のための設備投資など9億6千7百万円を行ったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、20億8千5百万円（前期は使用した資金18億3千4百万円）となりました。これは主に、配当金の支払15億3千万円及び長期借入金の返済による支出5億5千万円などの資金の減少によるものです。

上記に加え円安要因による為替換算の影響により、1億6千1百万円の資金が増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想は、変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,776	12,589
受取手形及び売掛金	6,519	7,004
電子記録債権	1,753	1,966
商品及び製品	2,838	2,722
仕掛品	4,146	4,099
原材料及び貯蔵品	1,821	1,862
その他	1,431	831
流動資産合計	30,286	31,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,081	4,524
機械装置及び運搬具（純額）	2,930	3,080
その他（純額）	2,024	1,871
有形固定資産合計	9,035	9,476
無形固定資産	156	149
投資その他の資産		
投資有価証券	385	418
退職給付に係る資産	683	711
その他	382	624
投資その他の資産合計	1,451	1,753
固定資産合計	10,644	11,379
資産合計	40,930	42,456



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,288	4,046
短期借入金	1,099	849
未払法人税等	1,003	837
賞与引当金	601	607
役員賞与引当金	90	45
その他	1,758	2,008
流動負債合計	7,841	8,395
固定負債		
長期借入金	897	597
役員報酬BIP信託引当金	95	101
退職給付に係る負債	121	131
その他	191	194
固定負債合計	1,306	1,025
負債合計	9,147	9,420
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,144	2,144
資本剰余金	2,098	2,150
利益剰余金	26,091	26,426
自己株式	△850	△654
株主資本合計	29,483	30,067
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226	248
為替換算調整勘定	2,026	2,670
退職給付に係る調整累計額	2	3
その他の包括利益累計額合計	2,255	2,923
非支配株主持分	43	45
純資産合計	31,783	33,035
負債純資産合計	40,930	42,456

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	16,370	16,183
売上原価	11,945	11,719
売上総利益	4,425	4,464
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	555	566
賞与引当金繰入額	150	150
役員賞与引当金繰入額	40	45
退職給付費用	55	1
役員報酬B I P信託引当金繰入額	10	6
その他	1,007	1,119
販売費及び一般管理費合計	1,819	1,889
営業利益	2,606	2,575
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	5	4
為替差益	155	87
受取地代家賃	11	11
助成金収入	4	36
その他	8	13
営業外収益合計	189	157
営業外費用		
支払利息	4	2
譲渡制限付株式報酬償却	-	1
その他	3	2
営業外費用合計	8	6
経常利益	2,787	2,726
特別利益		
子会社における送金詐欺回収益	-	64
特別利益合計	-	64
特別損失		
固定資産処分損	6	5
特別損失合計	6	5
税金等調整前四半期純利益	2,780	2,785
法人税、住民税及び事業税	936	911
法人税等調整額	12	2
法人税等合計	948	914
四半期純利益	1,832	1,871
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,829	1,869

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,832	1,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	22
為替換算調整勘定	1,150	644
退職給付に係る調整額	2	0
その他の包括利益合計	1,157	667
四半期包括利益	2,989	2,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,987	2,537
非支配株主に係る四半期包括利益	2	1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,780	2,785
減価償却費	726	737
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36	6
役員報酬BIP信託引当金の増減額 (△は減少)	10	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△40	△45
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	48	△24
受取利息及び受取配当金	△8	△7
支払利息	4	2
為替差損益 (△は益)	△15	-
固定資産処分損益 (△は益)	6	5
売上債権の増減額 (△は増加)	△480	△485
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△180	332
未収消費税等の増減額 (△は増加)	713	566
子会社における送金詐欺回収益	-	△64
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△13	△1
仕入債務の増減額 (△は減少)	△317	582
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△74	28
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△2	245
その他	5	△22
小計	3,198	4,647
利息及び配当金の受取額	8	7
利息の支払額	△4	△2
法人税等の支払額	△1,258	△1,095
法人税等の還付額	-	104
子会社における送金詐欺回収額	-	64
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,944	3,725

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△192	△196
定期預金の払戻による収入	189	196
有形固定資産の取得による支出	△692	△948
有形固定資産の売却による収入	-	0
無形固定資産の取得による支出	△5	△19
その他	△15	△42
投資活動によるキャッシュ・フロー	△715	△1,010
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△668	△550
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,163	△1,530
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
その他	△2	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,834	△2,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	362	161
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△243	791
現金及び現金同等物の期首残高	12,311	11,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,067	12,089

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。